

平成 31 年 4 月 1 日
沖 縄 気 象 台

沖縄周辺海域で 3 月の海面水温が最も高い記録を更新

沖縄周辺海域の 2019 年 3 月の海面水温は、平年より高い状態が続きました。特に、東シナ海南部、沖縄の東の海域では、2019 年 3 月の月平均海面水温の平年差がそれぞれ+1.0℃、+1.1℃（ともに速報値）となり、海面水温の解析値が存在する 1982 年以降、3 月としては 1999 年と並んで最も高くなりました。

1. 沖縄周辺海域の 2019 年 3 月の月平均海面水温

沖縄周辺海域の 2019 年 3 月の海面水温は、おおむね月を通して平年より高い状態が続きました。特に、東シナ海南部、沖縄の東の海域（別紙図 1 赤枠及び青枠）では、2019 年 3 月の月平均海面水温がそれぞれ 20.5℃、21.8℃（ともに速報値）となり、平年よりそれぞれ 1.0℃、1.1℃高く、海面水温の解析値の存在する 1982 年以降、3 月としては 1999 年と並んで最も高くなりました（別紙図 2 及び表）。

2. 海面水温が高くなった要因

沖縄周辺海域では、海面水温が 2 月としては最も高くなりました。その後、3 月は、上旬は寒気の流れ込みが弱く、海面水温が高い状態が維持されました。中旬、下旬は、寒気の影響で海面水温が低下しましたが、海面水温が平年より高い状態は続き、3 月としては 1999 年と並んで最も高くなりました。

海面水温の最新の状況と見通しは、「海洋の健康診断表 海面水温・海流（沖縄周辺海域）」をご覧ください。

https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f_6/jun_OK/kaiyo_OK.html

問合せ先：沖縄気象台 地球環境・海洋課 担当 佐々木・藤原
電話：098-833-4065 FAX：098-833-4292

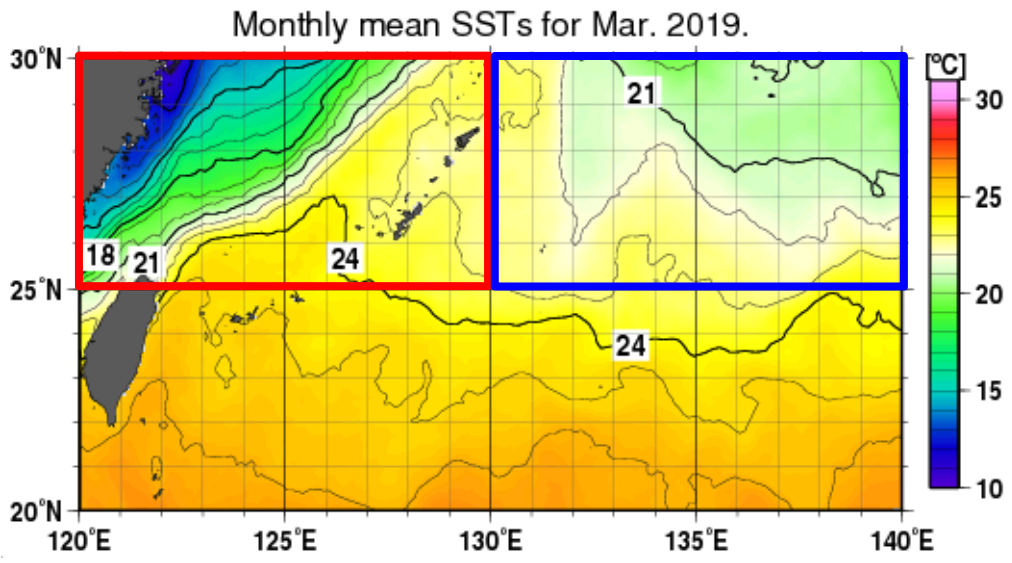


図 1 : 沖縄周辺海域の月平均海面水温分布図(2019年3月) (速報値)

図中の赤枠(北緯 25~30 度、東経 120~130 度で囲まれた領域)は「東シナ海南部海域」、青枠(北緯 25~30 度、東経 130~140 度で囲まれた領域)は、「沖縄の東の海域」として海面水温を平均する領域を示します。

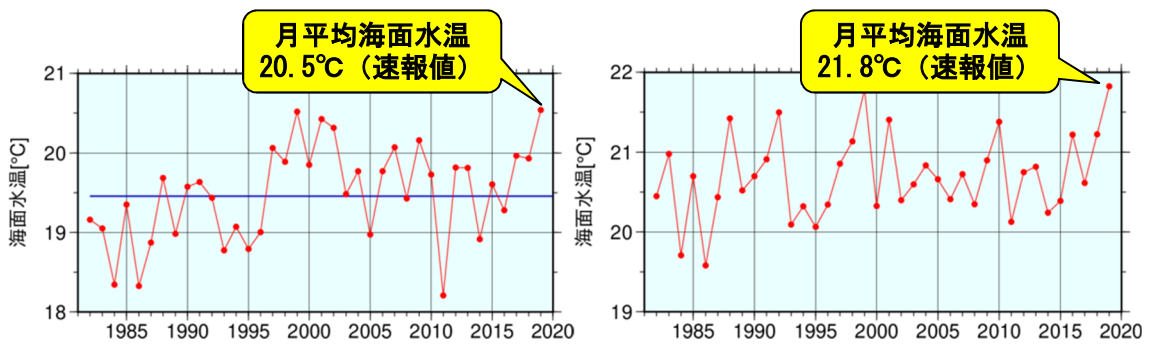


図 2 : 3月の、沖縄周辺海域での月平均海面水温の経年変化
(左:東シナ海南部海域、右:沖縄の東の海域)

人工衛星とブイ・船舶による観測値から解析された海面水温。青線は平年値(統計期間:1981年~2010年)。2019年の値は速報値。

東シナ海南部			沖縄の東		
年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)	年	平均海面水温(°C)	平年差(°C)
2019	20.5	+1.0	2019	21.8	+1.1
1999	20.5	+1.0	1999	21.8	+1.1
2001	20.4	+0.9	1992	21.5	+0.8

表 : 沖縄周辺海域で3月の月平均海面水温が高かった年(上位順)
2019年の値は速報値。